

つながる世界の品質確保に向けた手引き

IoT 開発・運用における妥当性確認・検証の重要ポイント

検証の立場から考慮すべき重要事項を 13の視点として提示



2018年3月公開

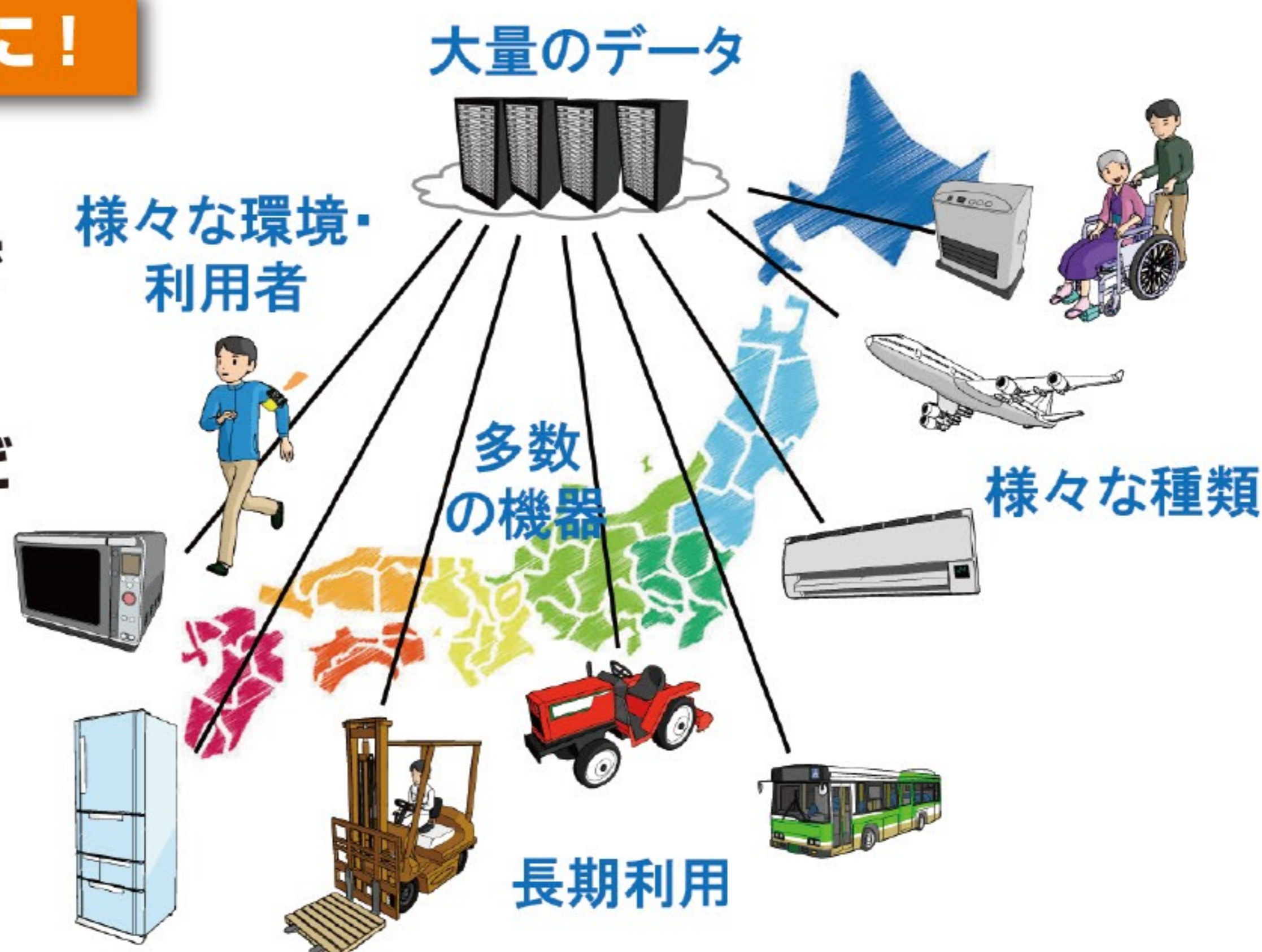
<https://www.ipa.go.jp/sec/reports/20180322.html>



活動	品質の確保、維持・改善の視点
V&V マネジメント	【視点1】IoTの社会的影響やリスクを想定する
妥当性確認	【視点2】つながる機能の要求仕様が利用者を満足させるか確認する
	【視点3】実装した機能が利用者の要求を満たしているか評価する
検証	【視点4】多種多様なつながり方での動作と性能に着目する
	【視点5】多種多様な利用環境や使い方に着目する
	【視点6】障害や故障、セキュリティ異常の検知と回復に着目する
	【視点7】長期安定稼働の維持に着目する
	【視点8】大規模・大量データのテスト環境構築とテスト効率化を検討する
	【視点9】テストのし易さと実施可能性を検討する
運用マネジメント	【視点10】テストを効率的に実施し、エビデンスを残す
運用マネジメント	【視点11】運用中の環境変化による影響やリスクを想定する
運用実施	【視点12】運用中の環境変化を捉え、品質が維持されているか確認する
	【視点13】ソフトウェアの更新時はつながる相手への影響を確認する

IoT時代では品質確保が重要に！

- 屋内 / 屋外、高地や寒冷地など様々な環境、幼児から高齢者まで幅広い層が利用
- 接続される機器の種類や個数など利用環境が日々刻々と変化
- 自動車・家電製品・工場のシステムなど長期に利用



本手引きを現場で効率的に活用するための「つながる世界の品質確保チェックリスト」を同時公開